

## 第1回 建物・構築物検討会 議事録

1. 開催日時：平成15年 5月13日(火) 10:00～12:00
2. 開催場所：(社)日本電気協会 4階 B会議室
3. 出席者：(順不同，敬称略)
  - 委員：久保主査(名古屋工業大学)，北山副主査(東京都立大学)，齋藤幹事(東京電力)，齋藤(北海道電力)，石原(東北電力)，野田(東京電力)，尾之内(中部電力)，小笹(北陸電力)，三代(中国電力)，細川(四国電力)，上妻(九州電力)，野口(電源開発)，伏見(日本原子力発電)，福島(鹿島建設)，須原(清水建設)，石崎(竹中工務店)，森山(大成建設)，朝倉(日立)，福西(三菱)  
(計19名)
  - 代理出席：尾崎(関西電力・村上代理)，遠藤(大林組・清水代理)，米田(東芝・中島代理)  
(計3名)
  - オブザーバ：小江・中山(関西電力)，室田・北村(日本原子力発電)(計4名)
  - 事務局：福原・肥後(日本電気協会)(計2名)
4. 配布資料
  - 資料 No.1-1 日本電気協会 原子力規格委員会 規約(平成12年11月16日制定)
  - 資料 No.1-2 規格策定基本方針
  - 資料 No.1-3 耐震設計分科会・検討会の公開について
  - 資料 No.1-4 原子力規格委員会 耐震設計分科会 建物・構築物検討会委員名簿
  - 資料 No.1-5 耐震設計分科会 規格改廃要否、平成14年度活動実績及び平成15年度活動計画(案)
  - 資料 No.1-6 第1回総括検討会 議事録(案)
  - 資料 No.1-7 JEAG改定作業全体工程(案) 建物・構築物
  - 資料 No.1-8 原子力発電所耐震設計技術指針(JEAG4601) 目次案
  - 資料 No.1-9 原子力発電所耐震設計技術指針(JEAG4601-1987) 建物・構築物関係の目次と検討項目
  - 資料 No.1-10 JEAG改定(建物・構築物)の作業手順
  - 資料 No.1-11 乾式キャスク貯蔵建屋基礎構造の設計に関する技術指針(案)
  - 資料 No.1-12 JEAG4616 乾式キャスク貯蔵建屋基礎構造の設計に関する技術指針(案) 公衆審査意見の対応
  - 資料 No.1-13 鋼板コンクリート構造耐震設計技術指針(仮称)作成の基本方針

## 5. 議事

- (1) 主査の選出、副主査の指名、常時参加者・幹事の承認について
  - a. 資料 No.1-1 に基づき、事務局より検討会に関する規約の概要について説明が行われ

た。主な内容は以下のとおり。

- ・初回の検討会において主査 1 名を互選により選出する。検討会には副主査を置くことができ、主査が副主査を指名する。
  - ・決議に際しては委員総数の 2 / 3 以上の出席及び出席者の 4 / 5 以上の賛成が必要となる。
  - ・公開とは、開催案内をホームページ及び電気新聞で公知し、傍聴者の出席及び資料開示請求への対応など、分科会と同様の扱いとなる。
- b . 規約に基づき主査選出手続きを行った結果、主査候補として久保委員が推薦され、その他候補者の推薦がないことを確認した後、挙手による決議を行った結果、委員総数 22 名 , 出席委員 22 名のうち候補者本人を除く全員の賛成で、久保委員が主査に選出された。久保主査より、副主査として北山委員が指名された。
- c . 今後、本検討会で審議する鋼板コンクリート構造耐震設計技術指針(以下、SC 指針という)検討に、この分野の専門家である新潟大学の土井希祐先生を常時参加者とするについて、久保主査から発議があり承認された。また、東京電力の齋藤委員を幹事とするについて、久保主査から発議があり承認された。

#### (2) 耐震設計分科会と建物・構築物検討会の関係について

資料 No.1-3 に基づき、齋藤幹事より耐震設計分科会とその傘下の建物・構築物検討会を含む各検討会の位置付けについて紹介があった。

#### (3) 検討会の平成 15 年度スケジュールについて

資料 No.1-7 に基づき、齋藤幹事よりスケジュールについて説明がなされた。主な内容は以下のとおり。

- ・ JEAG4601 の改定が大目標であり、作業は国の耐震設計審査指針(以下、審査指針という)の検討状況に左右される。
- ・ JEAG 改定作業用の新旧比較表は、旧にあたる現行部分の記載は完了している。
- ・ JEAG4601 第 6 章 6.1.5 コンクリート格納容器の記載については、機械学会が告示 452 号に基づく規格を制定するため、機械学会の規格をもとに JEAG に記載する内容をどの程度にするかを審議することになる。
- ・ SC 指針は、独立した JEAG とする。

なお、審査指針の検討は公開の場で行われており、検討状況は把握しているため、内容の確定を待たずに作業できるものから着手すること、及び機械学会のコンクリート製原子炉格納容器規格は、原案がほぼ確定している段階であり JEAG に反映できる見込みであることが確認された。

#### (4) JEAG4601 改定目次案について

資料 No.1-8 に基づき、齋藤幹事より JEAG4601 改定目次案が紹介された。久保主査より基本的には JEAG に記載する内容はスリム化したいとの方針が示されたが、国の指針等

が性能規定化され、具体的な仕様や設計法等は民間基準で定める傾向を強めているため、JEAG に詳細な記載が求められる場合があるとの意見が出された。性能規定については、民間基準は性能確認の方法を示す等種々の規定方法があるため、審査指針の検討動向に応じて記載範囲を調整していくこととした。

なお、留意事項として審査指針の検討において上下動を動的に取り扱うことが、積極的に検討されており、JEAG の構成を変えなければならない可能性があることが示された。また関連して、審査指針の動向にかかわらず、最新の知見として上下動の動的解析について JEAG に記載してもよいのではないかとの意見が出された。

(5) 建物・構築物関係の目次と検討項目について

資料 No.1-9 に基づき、執筆分担の確認がなされ、今後執筆分担に応じて作業を進めることとした。独立した JEAG となる SC 指針については、JEAG4601 に SC 構造もあることを記載したいと考えている旨紹介があった。

(6) JEAG 改定(建物・構築物)の作業手順について

資料 No.1-10 に基づき、齋藤幹事より JEAG 改定の作業手順について説明がなされた。JEAG は最終的には条文 + 解説形式とするが、まずは記載内容を組み立てることを優先し、現行のテキスト形式で作成し総括検討会にかけることが確認された。

(7) 「乾式キャスク貯蔵建屋基礎構造の設計に関する技術指針」(案)の公衆審査意見に対する対応について

「乾式キャスク貯蔵建屋基礎構造の設計に関する技術指針」(案)の公衆審査(3/6～5/6)の結果、1名の方から4件の意見が寄せられた。これらの意見に対する対応案について、齋藤幹事より資料 No.1-12 に基づき説明がなされ、審議の結果、資料 No.1-12 の方針で耐震設計分科会に諮ることが承認された。なお、資料の文章表現については久保主査と齋藤幹事に一任することにした。今後、分科会委員の了承を得た上で5月23日の原子力規格委員会に諮る予定。

(8) SC 指針について

資料 No.1-13 に基づき、尾崎氏、小江氏より SC 指針作成の基本方針について説明がなされた。

久保主査より SC 指針の審議は、本検討会と耐震設計分科会で同時並行的に行いたい旨提案があり了解された。

(9) その他

次回は、6月17日(火)13:00～16:00に開催する。

以上